

# 公共交通



## で 出かけよう!

問合先 市企画室 第9便

JR室蘭線(沼ノ端～岩見沢)は、JR北海道が単独維持困難とする路線の一つです。この室蘭線を地域住民の足として守り、鉄路を中心に、周辺の地域を元気にしていくことを目的として、JR室蘭線活性化連絡協議会<sup>※</sup>が発足しました。

この協議会には、沿線の苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町と、岩見沢市が参加しています。国や北海道、JR北海道などをはじめとする関係団体や、他の地域などにも連携しながら、どうすれば多くの人に利用してもらえるか、今よりもコストを抑える方法がないかなど、みんなで知恵を出し合い、室蘭線の維持に向けて活動していきます。



## JR室蘭線活性化連絡協議会が発足!

### JR北海道 平成29年度線区別の収支

JR北海道が、平成29年度の線区別収支と利用状況を公表しました。

平成28年8月の台風災害により、長期間運休した列車の運転が再開したことなどにより、石勝・根室線(南千歳～帯広)や札幌周辺では収支の改善が見られました。鉄道事業全体では551億円余りの赤字となり、前年度から25億円余り悪化しています。

室蘭線(沼ノ端～岩見沢)の収支は、営業収益が1億2300万円、

営業費用が13億5700万円、収益から費用を差し引いた営業損益は12億3300万円の赤字で、前年度からわずかに改善したものの、大変厳しい状況が続いています。

鉄道の果たしている役割は、単に線区の収支だけで推し量れるものではありません。鉄路を含め、将来を見据えた北海道の人流や物流のあり方が問われています。

JR北海道 単独維持困難線区の収支状況

JR北海道資料より抜粋

線名	区間	収支 (単位:百万円)			輸送密度 <sup>※</sup>
		収益	費用	損益	
札沼線	医療大学～新十津川	15	329	▲314	57
根室線 <sup>※</sup>	富良野～新得	31	735	▲705	92
留萌線	深川～留萌	39	772	▲732	157
宗谷線	名寄～稚内	436	3,169	▲2,733	352
根室線	釧路～根室	163	1,272	▲1,110	264
根室線	滝川～富良野	138	1,408	▲1,270	428
室蘭線	沼ノ端～岩見沢	123	1,357	▲1,233	439
釧網線	東釧路～網走	286	1,783	▲1,497	374
日高線	苫小牧～鶴川	27	453	▲426	449
石北線	新旭川～上川	317	1,299	▲982	1,188
	上川～網走	996	4,258	▲3,261	821
富良野線	富良野～旭川	401	1,399	▲998	1,597
石勝線	新夕張～夕張	10	218	▲207	69
日高線 <sup>※</sup>	鶴川～様似	57	817	▲760	119

※輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員(線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数)です。

※根室線の一部区間(富良野～新得)と日高線(鶴川～様似)は、代行バスによる。

※端数調整のため、差し引きが一致しない場合があります。

室蘭線(沼ノ端～岩見沢) 赤字12億円余